

## 各講座のご案内

講座1 ExcelVBAを利用したプログラミング入門		大志田 憲
■ 令和6年7月17日（水） 18：30～20：00		
概要	現在では小学校でもプログラミング教育（プログラミング的思考）が取り入れられるようになりました。プログラミング的思考とは、物事や様々な処理を行う際に、その動作や手順を論理的に考え、効率よく結果を導く力とも言えるかと思えます。 仕事等で利用している方も多いMicrosoft Excel（エクセル）には、ExcelVBA(Visual Basic for Applications) というプログラム開発環境が含まれており、簡単にプログラムを作成することができます。本講座ではVBAを利用して、プログラミングの基礎知識である、順次、分岐、繰り返し処理を学んでいきます。	
備考	宮古短期大学の情報処理演習室のコンピュータを利用します。 プログラミングの経験は必要ありませんが、Excelを利用したことのある方を対象とします。	

講座2 基礎簿記の立体的な理解		松本 安司
■ 令和6年7月18日（木） 18：30～20：00		
概要	この講座では、基礎簿記知識の体系的な理解ができるような講義をしたいと思えます。たとえば、意外に区別がついていない人が多い、期中取引（実際に起きているできごと）と決算整理仕訳（実際には起きていないのに財務諸表作成のために絶対必要な仕訳）との区別があります。また、商品売買に紐付けられる取引とそうではない取引を区別することでも頭がかなり整理されます。また、繰越利益剰余金の増減は、決算日と株主総会を一連の流れで理解することでわかりやすくなります。	
備考		

講座3 公共政策からウェルビーイングを考える～ウェルビーイングが向上する社会とは？		和川 央
■ 令和6年7月19日（金） 18：30～20：00		
概要	近年、行政や企業経営など様々な場面で「幸福」を表す「ウェルビーイング」への関心が高まっています。本講座では、今なぜウェルビーイングに注目が集まっているのか、岩手県のウェルビーイングは今後どのように変化していくのか、などについて調査データやシミュレーション結果を交えながら考察していきます。	
備考		

講座4 絵画で読む19世紀のイギリス社会		大前 義幸
■ 令和6年7月20日（土） 10：00～11：30		
概要	本講座は、イギリス絵画から19世紀のイギリス社会、特に女性を中心に考察することが目的です。19世紀のイギリス社会は、男女格差や男性中心主義が当たり前でした。そのため女性が未婚のまま生活を過ごしていると、その女性が死活問題に遭遇することもありました。また女性が仕事をするとすれば、家庭の中でしか仕事を与えられず、もし外で家政婦などの仕事を得ることができても、その屋敷の主人の愛人として迎えられることが多くありました。 改めて、19世紀のイギリス社会を考察し、現代の日本社会における女性の地位や存在を考えてみたいと思えます。	
備考		

講座5 はじめての経営学		鈴木 将人
■ 令和6年7月20日（土） 13：30～15：00		
概要	経営学という学問分野について概説します。大学のホームページやパンフレットなどを見ると、さまざまな研究領域があるのかわかると思えます。一方で、それらはどのようなものかよくわからないと思っている人が少なくないのではないでしょうか。本講義では、経営学という分野について、できるだけわかりやすく解説します。	
備考	経営学関連の専攻へ大学進学を検討している高校生および高校生の保護者、高等学校等で進路指導に当たる先生方に参考になると思えます。	

※ 会場は全て岩手県立大学宮古短期大学部です。

## 各講座のご案内

<b>講座6 決算ニュースを読み聞きする基礎知識</b>		<b>松本 安司</b>
■ 令和6年7月22日(月) 18:30~20:00		
概要	<p>企業ニュースで増益だ、赤字転落した、などという決算に関する記事がよく出ます。読み流していると儲かった・損した程度の印象しか残りませんが、利益にも種類があり、また、いつ発表するかというルールがあります。また、ニュースになるのは報道機関が独自に調べたからではなく、企業が年4回決算発表を行っているからです。こうしたニュースは、前提となる知識を少し知識を増やすだけでいぶんわかりやすくなります。90分間でこうした知識をお伝えできればと思います。この講座では、ニュース記事を楽しめるようにすることを目標にして、そもそも企業は何のために決算発表するのかから解説を始め、新聞記事の読み方とその理解に必要な知識の解説を行いたいと思います。</p>	
備考		
<b>講座7 ドローンの基礎と飛行体験</b>		<b>鼻高 茂樹</b>
■ 令和6年7月23日(火) 18:30~20:00		
概要	<p>技術の発達により運送や防災、産業などドローンを活用する場が増えてきています。本講座では、ドローンの仕組みや操縦に関する規則や資格などの基礎の学習と体育館でドローンの飛行体験を行います。</p>	
備考	機材の関係上定員を2人とします。	
<b>講座8 相手も自分も大切にするコミュニケーション</b>		<b>河野 暁子</b>
■ 令和6年7月24日(水) 18:30~20:00		
概要	<p>相手も自分も大切にするコミュニケーションのことを、心理学では「アサーション」といいます。「こんなことを言ったら、相手はどう思うだろう…」と相手の反応を気にして、言いたいことが言えない。相手の話を聴かず、自分の意見ばかりを主張する。どちらも、コミュニケーションとしては上手だとは言えません。本講義では、日常生活でのコミュニケーションを円滑にすすめるための「アサーション」を学びます。</p>	
備考		
<b>講座9 日本語の諸方言全体から理解する宮古弁の位置</b>		<b>田中 宣廣</b>
■ 令和6年7月25日(木) 18:30~20:00		
概要	<p>宮古市にお住まいの方から、今でも時折「宮古弁は京都弁と同じ」旨の発言を耳にすることがあります。言語学を少しでも勉強した者なら(勉強しはじめの大学1年生でも)「方言圏論」を手掛かりに、「たしかに日本語の方言である以上、古代や中世また近世の京都方言に由来する語彙や表現法が伝播している例は当然ある」ことを想起しますが、冒頭に示した発言の意味は異なり、「宮古弁=京都弁」と思い込んでいるもので、もちろん、誤った認識=迷信です。これについて、既に、坂口忠先生が(1999年刊)『宮古のことば』のなかで「部分の同一を全体の同一と見なす、まともな理論の見本にならない。」と強い表現により説かれているにもかかわらず、未だに虚説を信仰し、あまつさえ、青少年や市外の方に語り聞かせる問題行動も認められます。当講座では、この虚説が虚説たる所以、その原因、そして、移住者による移住先地域の方言への影響の場合について考察します。この機会にデマはデマだと理解して迷信を改め、正しい知識を理解しましょう。</p>	
備考		
<b>講座10 言語理論と日英に見られる言語的特徴について</b>		<b>三村 敬之</b>
■ 令和6年7月26日(金) 18:30~20:00		
概要	<p>本講座では、言語理論の観点から、日本語と英語に見られる言語的特徴について考察していきます。日頃慣れ親しんでいる日本語とこれまで外国語として学んできた英語の構文を取り上げ、両言語の特性を見ていきます。</p>	
備考	必要に応じて、英和辞書をお持ち下さい。	
<b>講座11 連結会計の基礎</b>		<b>松本 安司</b>
■ 令和6年7月29日(月) 18:30~20:00		
概要	<p>検定簿記で思ったより低得点となる原因に、問題の読み間違いや見落としがあります。これが実は単純ミスではないことが多いように思います。勉強してきた簿記知識を、問題文の要求に合わせる「意識」が必要です。試験を目前にして、簿記知識を問題に合わせるために気をつけるべきことを中心に講義します。</p> <p>なお、2級については、連結会計を中心に行いたいと思います。</p>	
備考		